

# 枠組壁工法：建築工事特記仕様書(1)

本特記仕様書は「公共木造建築工標準仕様書(官庁営繕部監修)」の特記指定項目について記載している  
 運用は適用項目に■を記入する

## I. 建築工事特記仕様書

- 適用範囲 本仕様書は枠組壁工法による建築物及び工作物の工事に適用する。
- 共通仕様
  - 設計図書
 

設計図書とは、本仕様書・設計図・指示書(現場説明書及び質疑 応答書を含む)をいう。
  - 標準仕様書
 

設計図書に記載なきものは、標準仕様書による、標準仕様書として下記を指定する。

    - 国土交通省官庁営繕部制定 令和7年版「公共建築木造工事標準仕様書」(以下、木標仕という)
    - 国土交通省官庁営繕部制定 令和7年版「公共建築工事標準仕様書」(以下、標仕という)
    - (独)住宅金融支援機構編著 「枠組壁工法住宅工事仕様書」
  - その他標準仕様書
 

「標準仕様書」に記載なきものは、下記のその他標準仕様書による。

    - (一社)日本ツブ・イフォー建築協会発行 2018年版「枠組壁工法建築物構造躯体施工の手引」
    - (一社)日本ツブ・イフォー建築協会発行 2025年版「枠組壁工法建築物くぎ打ちの手引」
  - 工事着手前に監督職員と施工管理者が、工事監理要項書について確認し合うものとする。
  - 構造については枠組壁工法構造特記仕様書及び工事監理要項書による。
  - 設備については設備工事特記仕様書及び工事監理要項書による。
  - 設計図書の優先順位設計図書の優先順位は下記による。
 

設計図書の優先順位は下記による。

    - 指示書(質疑 回答書)
    - 指示書(現場説明書)
    - 本特記仕様書
    - 設計図
    - 標準仕様書
    - その他標準仕様書
  - 疑義
 

疑義が生じた場合や、施工工法の提案を行いたい場合には、監督職員、監理者にその処理方法について協議する。
- 適用の表示
  - 項目は番号に●印の付いたものについてを適用する。
  - 特記事項は■印の付いたものについて適用する。
  - 特記事項の(・・・)内の表示番号は、標準仕様書の当該項目又は当該表を示す。
- 工事の取合い区分
 

各工事に発生する建築・電気・機械(空調・給排水)昇降機等各分野の工事取合い区分は次表(工事取合い区分表)による、但し表中に記載されていない取合いが生じた場合は、施工管理者が係員と相談のもとに、調整し決定すること。

項目	工事内容	建築	衛生	空調	電気	昇降機
1. 電気室・機械室 ポンプ室	A 内装仕上及びシンダー・ピット及び蓋取付	○				
	B 各種機器の基礎及び、仕上、取付		○	○	○	
	C 防水を伴う基礎、仕上	○				
2. 発電機	A 発電機用冷却水の給排水設備(発電機室内外)		○			
	B 発電機用排気管及び通気管、給油管				○	
3. 消火栓	A 消火栓起動用押しボタン 取り付け				○	
4. 制御盤類	A 盤類		○	○	○	
	B 躯体埋め込み、補強	○				
5. 昇降機	A 専用インターホン供給取付					○
	B 籠内電灯用電源の配管、配線(一次側)				○	
	C 三方栓(金属製)					○
	D ピット内電源				○	
	E 籠内特殊仕上					○
6. 開口部等	A 埋め込み照明器具、スピーカー、吹出し口、吸気口	○				
	の地下及び補強					
	B 同上、仕上切り込み			○	○	
	C ドアガラリ	○				
7. シャッター及び ドアエンジン	D 多目的スリーブ、グリル	○				
	A 手元操作盤、電動機、スイッチ等の取付及び配管、配線	○			○	
8. 換気扇	二次				一次	
	A 機器取付(フード)		○			
9. 厨房	B 枠及び切り込み、補強等	○				
	A 室内床、シンダー、排水溝蓋取付	○				
10. し尿浄化槽	B グリーストラップ		○			
	A					
11. 受水槽及び その他槽	A RC造躯体、防水、マンホール、タラップ	○				
	B 既成品、基礎	○	○			
	C 電極及び配管、配線				○	
12. 貫通スリーブ	A 梁、壁、貫通スリーブ、及び箱入れ		○	○	○	
	B 構造図による貫通補強	○				
13. 各種点検口	A 天井、壁、床、シャフト等	○				
	A シャッター及び扉、防煙垂れ壁	○				
14. 防火扉及び 排煙装置	B 煙感連動自動開閉装置(マグネット)	○				
	C 連動自動閉鎖装置用感知器、表示及び配管、配線				○	
	D 排煙口ダンパー、制御器			○		

○本特記仕様内容は、国土交通省官庁営繕部監修 令和7年版「公共建築木造工事標準仕様書」に対応した特記仕様書とする  
 ○本特記仕様内容は、設計内容に合わせて設計者の責任において記入、あるいは書き換えること

## 1章 一般共通事項

- 木標仕第1章
- 適用
 

○標準仕様書1章。一般共通事項は前述の I. 建築工事特記仕様書 2. 共通仕様に読み替えるものとする。

○仕様書及び設計図書に明記のない場合においても、当然付帯すべき事項は、本工事に含まれるものとする。

	提出書類	部数	提出時期	備考
1	工事組織表		着工前会議時	
2	工事工程表		請負契約時	
3	現場担当者名簿		請負契約時	
4	協力業者名簿		決定後速やかに、随時	
5	メーカーリスト		決定後速やかに、随時	
6	工事報告書		毎月20日迄	
7	打合せ議事録		随時	
8	材料試験報告書		随時	
9	工事完成図		竣工後4週間	CADデータ含む
10	工事完成写真		竣工後4週間	電子データ含む
11	工事竣工調書		竣工後4週間	
	官公署届出書類控え			
	官公署届検査済証・工事竣工届			
	工事竣工引渡書			
	工事保証書・性能試験一覧			
	鍵リスト			
	協力会社一覧・メーカーリスト一覧			
  - 提出書類
 

○室内空気質の濃度測定 測定を実施する 測定しない

    - 化学物質の濃度測定の実施は、「濃度測定計画書」作成し実施する。
    - 測定時期、対象化学物質、対象室、測定箇所数は、「濃度測定計画書」による。
    - 実施した測定結果を、監督員に提出する。
  - 化学物質の濃度測定
 

○本工事に使用する材料等の内、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。

ただし、同等のものとする場合は係員の承諾を受けること。

○製材・木質材料等を使用する場合、「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン」に準拠した証明書を提出する。
  - 建築材料等
 

○「標準仕様書」に記載されていない特殊な材料工法は、当該製品の指定する工法とする。
  - 特別な材料の工法
 

○「別途工事」についての工事工程並びに納まりに関しては、施工会社と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。
  - 別途工事
 

○「別途工事」に記載されていない特殊な材料工法は、当該製品の指定する工法とする。

## 2章 仮設工事

- 木標仕第2章
- 仮囲い
 

(1) 構造	<input type="checkbox"/> 鋼板製	<input type="checkbox"/> その他( )
(2) 仕上	<input type="checkbox"/> 仕上なし	<input type="checkbox"/> 塗装仕上
(3) 範囲	道路面及び安全上必要と思われる範囲とする。	
(4) 高さ		
  - 係員詰所等
 

(1) 監督職員事務所	<input type="checkbox"/> 設ける	<input type="checkbox"/> 設けない
(2) 請負者事務所	<input type="checkbox"/> 設ける	<input type="checkbox"/> 設けない

※事務所の規模・設備等は係員と事前に協議の上決定する。
  - 工事用水
 

<input type="checkbox"/> 利用出来る	( <input type="checkbox"/> 有償 <input type="checkbox"/> 無償)	<input type="checkbox"/> 利用できない
--------------------------------	--	---------------------------------
  - 工事用電力
 

<input type="checkbox"/> 利用出来る	( <input type="checkbox"/> 有償 <input type="checkbox"/> 無償)	<input type="checkbox"/> 利用できない
--------------------------------	--	---------------------------------
  - 障害物の処理
 

○工地上撤去・移設を必要とする軽微なものは、本工事の範囲とする。

## 3章 土・地業・基礎工事

- 標仕第3章・第4章・第5章・第6章  
木標仕第3章
- 1節 土工事
    - 山留め
 

山留め工事を行う  山留め工事なし
    - 埋戻し・盛土
 

埋戻し・盛り土の種類は下記による。

種別	材料	工法
<input type="checkbox"/> A種	山砂の類	水締め、機器による締め固め
<input type="checkbox"/> B種	根切り土の内良質土	機器による締め固め
<input type="checkbox"/> C種	他現場の発生土の内良質土	機器による締め固め
<input type="checkbox"/> D種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締め固め
  - 2節 地業工事
 

○鉄筋コンクリート・鉄骨工事構造標準仕様書による。
  - 3節 基礎工事
 

○鉄筋コンクリート・鉄骨工事構造標準仕様書による。

## 4章 木造工事

- 木標仕第4章
- ホルムアルデヒド
 

○ホルムアルデヒド放散量

区分	材料
JAS規格による材料	<input type="checkbox"/> 性能区分がF☆☆☆☆である材料
	<input type="checkbox"/> JASの非ホルム系接着剤使用材料材料
JIS規格による材料	<input type="checkbox"/> 表面塗装加工品で非ホルム接着剤・塗料使用材料
	<input type="checkbox"/> 性能区分がF☆☆☆☆である材料
	<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド放散量が0.005mg/mhの材料
<input type="checkbox"/> 事業団体等で上記の性能が認められた材料	
  - 含水率
 

○構造材料は「枠組壁工法構造特記仕様書」による。

○造作材料は10章木工事による。

○構造材料は「枠組壁工法構造特記仕様書」・「構造図特記」による。

○造作用製材は10章木工事の規定による他、設計図の特記による。

○「化粧張り造作用集成材」・「造作用集成材」は設計図の特記による。

○「造作用単板積層材」は設計図の特記による。

○仕上下地の合板は設計図の特記による。

○仕上化粧合板は設計図の特記による。
  - 材料
 

○「化粧張り造作用集成材」・「造作用集成材」は設計図の特記による。

○「造作用単板積層材」は設計図の特記による。

## 5章 軸組構法(壁構造系)工事

木標仕第5章

## 6章 軸組構法(軸組構造系)工事

木標仕第6章

## 7章 枠組壁工法工事

- 木標仕第7章
- 構造仕様
 

○「枠組壁工法構造特記仕様書」による

## 8章 丸太組構法工事

木標仕第8章

## 9章 CLTパネル工法工事

木標仕第9章

## 10章 木工事

- 木標仕第10章
- 含水率
 

含水率15%以下  
含水率15%超18%以下
  - 造作材樹種
 

部位	部材	樹種
□外部窓・出入口枠	建枠・上枠・下枠	<input type="checkbox"/> 集成材
	額縁・ぜん板	<input type="checkbox"/> 化粧シート張り積層材
□内部建具枠材	建枠・上枠・下枠	<input type="checkbox"/> 集成材
	額縁・ぜん板	<input type="checkbox"/> 化粧シート張り積層材
□和室材等	敷居・かもい	<input type="checkbox"/> 化粧単板張り集成材
	畳寄	<input type="checkbox"/> 化粧単板張り積層材
□床板	和室縁甲板	<input type="checkbox"/> 無垢材
	洋室床	<input type="checkbox"/> 化粧単板張り集成材
□外壁板張り軒天井	下見板・横羽目板	<input type="checkbox"/> 積層材
	縦羽目板	<input type="checkbox"/> 無垢材 カマツ
□内壁板張り内部天井	横羽目板・縦羽目板	<input type="checkbox"/> 積層材
		<input type="checkbox"/> 無垢材 ベ'イダ'・ス'キ'
□階段材	側桁・段板・蹴込み板	<input type="checkbox"/> 集成材
		<input type="checkbox"/> 化粧単板張り集成材
		<input type="checkbox"/> 化粧単板張り積層材
		<input type="checkbox"/> 無垢材 珉
□押入・物入	親柱・手摺子 手摺笠木	<input type="checkbox"/> 集成材
		<input type="checkbox"/> 化粧単板張り集成材
□	中段・枕棚・天袋棚	<input type="checkbox"/> 市販品
	根太・根太掛け	<input type="checkbox"/> 無垢材
□		<input type="checkbox"/> 市販品
□		<input type="checkbox"/> 無垢材

## 11章 防水工事

- 標仕第9章  
木標仕第11章
- 一般事項
 

○防水工事は(一社)日本ツブ・イフォー建築協会発行 2016年版「枠組壁工建築物防水施工の手引き」による他、製造所仕様による。

○上記に記載なき事項は、木標仕第11章・標仕第9章の記載による。

○防水雨仕舞の仕様は建築仕様書による。

①(一社)日本ツブ・イフォー建築協会発行 2016年版「枠組壁工建築物防水施工の手引き」  
 ②FRP防水材工業会「FRP防水施工標準仕様書」

○FRP塗膜防水は、ガラスマット補強材を2層以上としたものとする。

○FRP防水層の上に保護モルタルを施工する場合は耐アルカリ保護処置を行なう。

○製造所の仕様により、「防火認定仕様等」を確認し仕様を遵守すること。

○標仕第9章の規定による他、指定メーカーの工事仕様による。

○シーリングの施工部位は、(一社)日本ツブ・イフォー建築協会発行 2016年版「枠組壁工建築物防水施工の手引き」による他、設計図特記による。

被着体の組合せ		シーリング材の種類	
金属 (アルミサッシ等)	金属	方立目地	<input type="checkbox"/> シリコーン系
		上記以外	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
	コンクリート ガラス 石・タイル ALC		<input type="checkbox"/> シリコーン系
			<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		仕上なし	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		仕上あり	<input type="checkbox"/> ポリウレタン系
窯業系サイディング 押出し成形セメント板		<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系	
		<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系	
石	石	乾式工法目地	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		上記以外	<input type="checkbox"/> ポリウレタン系
ALCパネル	ALCパネル	仕上なし	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		仕上あり	<input type="checkbox"/> ポリウレタン系
窯業系 サイディング	窯業系 サイディング	仕上なし	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		仕上あり	<input type="checkbox"/> ポリウレタン系
押出し成形 セメント板	押出し成形 セメント板	仕上なし	<input type="checkbox"/> 変成シリコーン系
		仕上あり	<input type="checkbox"/> ポリウレタン系
タイル	タイル		<input type="checkbox"/> ポリサルファイド系
アルミニウム製建具工場シール			

※被着体の製造所の指定がある場合は、その仕様による。

○防水工事の保証年限は10年とする。
  - 責任保障
 

○防水工事の保証年限は10年とする。

## 12章 石工事

- 標仕第10章  
木標仕第12章
- 天然石張り
 

○石の品質  
床用石材  1等品  2等品  
壁及びその他の石材  1等品  2等品

○石の種類、表面仕上

施工箇所	種類	産地・名称	厚さmm	仕上の種類
  - テラゾー張り
 

○種石の種類  大理石

○表面の仕上  本磨き
  - 壁の石張り工法
 

○外壁石張り  乾式工法

○内壁石張り  乾式工法
  - 床及び階段の石張り
 

○床石張りの表面処理  行う

○屋内石仕上のフックス掛け  行う

# 枠組壁工法：建築工事特記仕様書(2)

本特記仕様書は「公共木造建築工標準仕様書(官庁営繕部監修)」の特記指定項目について記載している  
運用は適用項目に■を記入する

## 13章 タイル工事

- 1. 一般事項
- 2. 陶磁器質タイル
- 3. 特殊タイル
- 4. 壁タイル張り
- 5. タイル張り材料
- 6. タイル色・柄

## 15章 金属工事

- 1. ステンレスの表面仕上
- 2. アルミニウム  
アルミニウム合金  
の表面仕上
- 3. 鉄の亜鉛メッキ
- 4. 手摺及びタラップ
- 5. 金属成形板張り
- 6. アルミニウム製  
笠木
- 7. その他鋼板
- 8. 軽量鉄骨天井下地
- 9. 軽量鉄骨下地

## 16章 左官工事

- 1. 防水紙
- 2. ラス下地

- 3. モルタル塗り
- 4. 仕上塗材

## 17章 建具工事

- 1. 住宅用  
7mm以下製建具
- 2. 7mm以上製建具
- 3. 網戸
- 4. 鋼製戸  
(SD)
- 5. 鋼製軽量建具  
(LSD)
- 6. 鋼製軽量  
自閉装置付引戸
- 7. ステンレス建具  
(SSD)
- 8. 自動ドア開閉装置
- 9. 木製建具  
(WD)
- 10. 建具用金物

- 11. ガラス

- 12. ガラスとめ材  
及び溝

## 13. ガラス用 フィルム

- 14. 重量シャッター
- 15. 軽量シャッター
- 16. オートヘッドドア
- 17. 障害物感知装置

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会 2025年版

○本特記仕様書内容は、国土交通省官庁営繕部監修 令和7年版「公共建築木造工事標準仕様書」に対応した特記仕様書とする  
○本特記仕様書内容は、設計内容に合わせて設計者の責任において記入、あるいは書き換えること

枠組壁工法：建築工事特記仕様書(2)

# 枠組壁工法:建築工事特記仕様書(3)

本特記仕様書は「公共木造建築工標準仕様書(官庁當舖部監修)」の特記指定項目について記載している  
運用は適用項目に■を記入する

## 18章 塗装工事

1. 防火材料  
○防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定又は認定された製品を使用する。
2. 塗装見本  
○あらかじめ塗り見本を作製し監理者に提出する。
3. 塗装面の確認  
○現場塗装の場合は、塗装材の使用量から単位当りの塗布量を推定する。  
○塗装面の確認方法
- | 項目        | 状態                       |
|-----------|--------------------------|
| 見本塗装等との比較 | 見本板等と色、つや及び仕上の程度が同様であること |
| 仕上り面の状態   | むら、しわ、へこみねはじき、つぶ等がないこと   |
4. 下地ごしらえ  
○押出し成形セメント板、窯業系サイディング材等の下地ごしらえの基準は各製造所の仕様による。
5. 床用塗装塗り  
○材質  ウレタン樹脂系塗装  
○仕上種別  平滑仕上  防滑仕上
6. 防塵用塗装塗り  
○材質  水性アクリル系樹脂塗装  
○仕上種別  コーティング(ローラー刷毛引き)

## 19章 内装工事

1. ビニル床シート張り
- | 種類                                | 記号  | 色柄  | 厚さmm |
|-----------------------------------|-----|---|------|
| <input type="checkbox"/> 発泡層のないもの | N C | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル |      |
| <input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの |     | <input type="checkbox"/> 柄物 <input type="checkbox"/> 無地   |      |
- 工法  熱溶接工法  突き付け(施工場所)
2. ビニル床タイル張り
- | 種類   | 記号    | 厚さmm | 備考 |
|--|-------|------|----|
| <input type="checkbox"/> コンボ <sup>®</sup> ショビ <sup>®</sup> ニル床タイル(半硬質) | C T   |      |    |
| <input type="checkbox"/> コンボ <sup>®</sup> ショビ <sup>®</sup> ニル床タイル(軟質)  | C T S |      |    |
| <input type="checkbox"/> ホモジニアスピニル床タイル                                 | H T   |      |    |
3. 帯電防止床タイル張り
- | 種類  | 厚さmm | 性能                          |
|---|------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> コンボ <sup>®</sup> ショビ <sup>®</sup> ニル床タイル |      | 体積抵抗値1.0×10 <sup>3</sup> 以上 |
| <input type="checkbox"/> ホモジニアスピニル床タイル                            |      |                             |
4. ビニル幅木  
○ 幅木高さ  60mm  75mm  100mm
5. カーペット敷き  
○ 織じゅうたん
- | 種別                          | バイル形状                              | 帯電性                            | 色柄等                              |
|-----------------------------|------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> A種 | <input type="checkbox"/> カットバイル    | 人体耐電圧                          | <input type="checkbox"/> 単一色(無地) |
| <input type="checkbox"/> B種 | <input type="checkbox"/> ループバイル    | <input type="checkbox"/> 3Kv以下 | <input type="checkbox"/> 柄物(標準品) |
| <input type="checkbox"/> C種 | <input type="checkbox"/> カット・ループ併用 | <input type="checkbox"/>       |                                  |
- タフテッドカーペット
- | バイル形状                              | バイル長mm                       | 工法  | 帯電性                            |
|------------------------------------|------------------------------|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> カットバイル    | <input type="checkbox"/> 5~7 | <input type="checkbox"/> 全面接着工法               | 人体耐電圧                          |
| <input type="checkbox"/> マルチレベルループ | <input type="checkbox"/> 4~6 | <input type="checkbox"/>                      | <input type="checkbox"/> 3Kv以下 |
| <input type="checkbox"/> レベルマップバイル | <input type="checkbox"/> 4   | <input type="checkbox"/> グリッパ <sup>®</sup> 工法 | <input type="checkbox"/>       |
| <input type="checkbox"/> カット・ループ併用 | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/>                      |                                |
- タイルカーペット
- | 種別                          | バイル形状                           | 電気抵抗(Ω)                                      | 備考 |
|-----------------------------|---------------------------------|--|----|
| <input type="checkbox"/> A種 | <input type="checkbox"/> ループバイル | <input type="checkbox"/> 適用しない               |    |
| <input type="checkbox"/> B種 | <input type="checkbox"/> カットバイル | <input type="checkbox"/> 10 <sup>9</sup> Ω以下 |    |
6. フローリング張り  
○ 施工方法  くぎ留め工法  接着工法  くぎ・接着併用工法  
 フラック<sup>®</sup>留め工法  フラック<sup>®</sup>・接着剤併用工法
- 仕上樹種  なら材  仕上表による
- 仕上塗装  
 ウレタン樹脂ワニス塗り  製造所仕様による  
 オイルステイン・ワックス塗り  ワックス塗り
7. 畳敷き  
○ 畳床の仕様は下記による
- | 区分  | 等級                            | 記号      | 規格       |
|---|-------------------------------|---------|----------|
| 稲わら畳  | <input type="checkbox"/> 特級   | WR-S    | JISA5901 |
|   | <input type="checkbox"/> 1級   | WR-1    | JISA5901 |
|   | <input type="checkbox"/> 2級   | WR-2    | JISA5901 |
|   | <input type="checkbox"/> 3級   | WR-3    | JISA5901 |
| ホ <sup>®</sup> リスフレ <sup>®</sup> フォーム <sup>®</sup> イッ <sup>®</sup> 稲わら畳 | <input type="checkbox"/>      |         | JISA5901 |
| 建材質   | <input type="checkbox"/> I型   | K T-I   | JISA5914 |
|   | <input type="checkbox"/> II型  | K T-II  | JISA5914 |
|   | <input type="checkbox"/> III型 | K T-III | JISA5914 |
|   | <input type="checkbox"/> K型   | K T-K   | JISA5914 |
|   | <input type="checkbox"/> N型   | K T-N   | JISA5914 |

## 8. せっこうボード その他ボード張り

- 1) 材料規格  
耐火被覆用ボード類は下記による。  
①省令準耐火構造の規格を適用する場合の耐火被覆は(独)住宅金融支援機構「枠組壁工法住宅工事仕様書」による。  
②準耐火構造、耐火構造の耐火被覆は建築基準法・建築基準法施行令・建築基準法施行令告示の規定による。  
③国土交通省大臣認定の「準耐火構造仕様」・「耐火構造仕様」とする場合は各認定書に規定される仕様による。
- | 種類  | 記号   | 厚さ(mm)・規格   |
|---|------|---|
| <input type="checkbox"/> 難燃木毛セメント板                  |      | <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 |
| <input type="checkbox"/> ケイ酸カルシウム板                  |      | タイ <sup>®</sup> 2(無石棉)タイ <sup>®</sup> 3(無石棉)  |
| <input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板                | DR   | <input type="checkbox"/> フラットタイプ( )mm   |
|   |      | <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ( )mm   |
| <input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板(軒天并用)          |      | <input type="checkbox"/> フラットタイプ( )mm   |
|   |      | <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ( )mm   |
| <input type="checkbox"/> せっこうボード                    | GB-R | <input type="checkbox"/> 9.5mm <input type="checkbox"/> 12.5mm                      |
|   |      | <input type="checkbox"/> 15mm   |
| <input type="checkbox"/> 強化せっこうボード※                 | GB-F | <input type="checkbox"/> 12.5mm <input type="checkbox"/> 15mm                       |
|   |      | <input type="checkbox"/> 21mm <input type="checkbox"/> 25mm                         |
|   |      | <input type="checkbox"/> 9.5mm <input type="checkbox"/> 12.5mm                      |
| <input type="checkbox"/> シージング <sup>®</sup> せっこうボード | GB-S |   |
| <input type="checkbox"/> 化粧せっこうボード(天井用)             | GB-D | <input type="checkbox"/> 9.5mm  |
| <input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板                  |      |   |
- ※平12建告第1399号における耐火構造の防火被覆とする場合  
ボード用原紙を除いた部分のせっこうの含有率を95%以上、ガラス繊維の含有率を0.4%以上とし、かつ、ひる石の含有率を2.5%以上としたものに限る。
- 2) せっこうボード等を、耐力壁の構造用面材とする場合は次による。
- | 種類                     | 接合具  | ピッチ      |
|------------------------|--|----------|
| 告示第1540号に規定されるせっこうボード類 | <input type="checkbox"/> GNF40mm <input type="checkbox"/> SF45mm       | 構造図特記による |
| 告示第1540号に規定されるその他ボード類  | <input type="checkbox"/> WSN32mm以上 <input type="checkbox"/> DTSN30mm以上 | 同上       |
| 国土交通省大臣認定による構造用面材仕様    | 認定指定による  | 同上       |
- 壁紙の仕様は設計図による。  
○ 防火材料の指定又は認定を受けた壁紙には、施工後適切な表示を行う。

## 20章 ユニット及びその他工事[断熱・防露工事]

1. 一般事項
2. 断熱材
- 断熱・防露工事はこの項による。
- | 断熱材の種類                             | 厚さmm  | 施工部位                               |
|------------------------------------|---|------------------------------------|
| フェルト状断熱材                           | <input type="checkbox"/> 住宅用グラスウール10K                                 | <input type="checkbox"/> 外壁・内壁     |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 小屋裏       |
|                                    | <input type="checkbox"/> 住宅用グラスウール16K                                 | <input type="checkbox"/> 外壁・内壁     |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 小屋裏       |
|                                    | <input type="checkbox"/> 住宅用グラスウール24K                                 | <input type="checkbox"/> 外壁・内壁     |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 小屋裏       |
| 高性能グラスウール16K                       | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 外壁        |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 外壁        |
| ロックウール                             | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 外壁・内壁・小屋裏 |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/>           |
| マット状断熱材                            | <input type="checkbox"/> マット状グラスウール                                   | <input type="checkbox"/> 1階床下      |
|                                    | <input type="checkbox"/> マット状ロックウール                                   | <input type="checkbox"/>           |
| ボード状断熱材                            | <input type="checkbox"/> 押出し法ホ <sup>®</sup> リスフレ <sup>®</sup> フォーム2種B | <input type="checkbox"/> 1階床下      |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/>           |
|                                    | <input type="checkbox"/> 押出し法ホ <sup>®</sup> リスフレ <sup>®</sup> フォーム3種B | <input type="checkbox"/> 屋根        |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 床下        |
|                                    | <input type="checkbox"/> ビーズ法ホ <sup>®</sup> リスフレ <sup>®</sup> フォーム    | <input type="checkbox"/> 床下        |
|                                    | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/> 基礎        |
| <input type="checkbox"/> フェノールフォーム | <input type="checkbox"/>  | <input type="checkbox"/>           |

3. 防湿材
- 性能値
- | 防湿材と透湿度  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> JISA6930(住宅用プラスチック系防湿フィルム)にて厚さ0.02mm以上のもの |  |
| <input type="checkbox"/> アルミ箔にクラフト紙を裏打ちしたもので厚さ0.007mm以上のもの         |  |
| <input type="checkbox"/>   | 透湿度が24時間当り75g/m <sup>2</sup> 以下のフタルコートクラフト紙、又は |
|  | プラスチック系防湿フィルム等                                 |
- 床下換気口  
 基礎断熱仕様とし床下換気を行わない  
 有効換気面積300cm<sup>2</sup>以上の床下換気口を間隔4.0m以内に設置  
 外部基礎全周に1.0m当り75cm<sup>2</sup>以上の基礎パッキング材を設置する  
※ 床下換気口の品質仕様は製造所仕様による
- 小屋裏換気口  
 屋根断熱仕様とし小屋裏換気を行わない  
 小屋裏壁小屋裏換気口(給排気両用)を設置する  
 軒裏に換気口(給排気両用)を設置する  
 軒裏に吸気口、小屋裏壁に排気口を設ける  
 軒裏に吸気口、屋根棟部に排気口を設ける  
※ 小屋裏換気口の品質仕様は製造所仕様による

## 20章 ユニット及びその他工事

1. ユニット及びその他工事
- 本項は「公共木造建築標準仕様書」第20章による他、「公共建築工事標準仕様書」第19章による
- ・階段滑り止め
- 材質  ステンレス製  アルミニウム製  その他
- 形状  ビニルタイヤ入り  ( )
- 取付方法  接着工法  埋め込み工法  その他
- ・階段手摺
- 集成材クリアラッカー仕上( )
- ビニル製ハンドレール(幅 )
- その他( )
- | 施工場所 | 構法                             | 仕上高mm | 適用地震時水平力                      | 表面仕上材   |
|------|--------------------------------|-------|-------------------------------|---|
|      | <input type="checkbox"/> パネル工法 |       | <input type="checkbox"/> 1.0G | <input type="checkbox"/> タイル・ベ <sup>®</sup> ット  |
|      | <input type="checkbox"/> 溝工法   |       | <input type="checkbox"/> 0.6G | <input type="checkbox"/> 帯電防止床 <sup>®</sup> タイル |
|      | <input type="checkbox"/>       |       | <input type="checkbox"/> 1.0G | <input type="checkbox"/> タイル・ベ <sup>®</sup> ット  |
|      | <input type="checkbox"/> 溝工法   |       | <input type="checkbox"/> 0.6G | <input type="checkbox"/> 帯電防止床 <sup>®</sup> タイル |
|      | <input type="checkbox"/> パネル工法 |       | <input type="checkbox"/> 1.0G | <input type="checkbox"/> タイル・ベ <sup>®</sup> ット  |
|      | <input type="checkbox"/> 溝工法   |       | <input type="checkbox"/> 0.6G | <input type="checkbox"/> 帯電防止床 <sup>®</sup> タイル |
- ・トイレブース
- 表面仕上  メラミン樹脂化粧板(標準色 フルミ<sup>®</sup>コーナ<sup>®</sup>エッジ<sup>®</sup>付)  
 インテリアアラ<sup>®</sup>ーチ化粧板  
 ミカゲ石  テラゾ<sup>®</sup>
- 足形状  幅木型  足金物
- 材質  ステンレス製  アルミニウム製  その他
- 形式  片引き  引き分け
- 形式  市販品  建築造作工事
- 材質  アルミニウム製(  額縁タイプ  目地タイプ )
- 材質  アルミニウム製(受け枠アルミ製)  
 アルミニウム製(受け枠ステンレス製)
- 形式  市販品  建築造作工事
- 枠  ステンレス製( mm× mm)
- 甲板  人工大理石  ステンレス製
- 扉表面材 設計図特記による
- 形式  市販品  建築造作工事
- 固定式
- | 材質                                 | 厚さmm                         | 高さmm                         | 備考    |
|------------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 網入り磨板ガラス  | <input type="checkbox"/> 6.8 | <input type="checkbox"/> 500 | アルミ枠付 |
| <input type="checkbox"/> 網入り磨き板ガラス | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/> 800 |       |
- 可動式
- | 種類           | 材質         | 高さmm                         | 備考  |
|--------------|------------|------------------------------|---|
| 垂直降下式(巻き取り式) | 不燃布(不燃認定品) | <input type="checkbox"/> 500 | ガイドレール  |
|              |            | <input type="checkbox"/> 800 | <input type="checkbox"/> 固定式 <input type="checkbox"/> 可動式 |
| 回転降下式        | 鋼板又はアルミ製   | <input type="checkbox"/> 500 | 表面仕上  |
|              |            | <input type="checkbox"/> 800 | <input type="checkbox"/> 天井材張り                            |
- ※ 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋め込み型)  
※ (一財)日本建築センターの防災性能評定品

- ・誘導用及び注意喚起用床材
- 屋内  塩化ビニル製  磁器又はセツ器質タイル  
 レジンコンクリート製
- 屋外  レジンコンクリート製  磁器又はセツ器質タイル
- 材質  A種(花崗岩)  B種(コンクリート製)
- 形式  市販品  建築造作工事
- 材質  ステンレス製SUS304
- 外構図による
- 形式  市販品  建築造作工事
- 照明器具  有り  無し
- 施錠  有り  無し
- 外構図による
- ・車止め支柱
- ・その他
- ・定礎
- 材質 花崗岩 大きさ( )
- 材質 大きさ( )
- 形式  市販品  建築造作工事
- ・避難器具  ( )
- ・室名板  ( )
- ・階段表示板  ( )
- ・物干布団干し金物  ( )
- 床下収納  アルミニウム製(受け枠アルミ製)
- 有り  無し
- ( )

## 公共建築工事標準仕様書による規定事項

### 「標仕」8章 コンクリート・ロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1. 建築用コンクリートブロック
- | 適用箇所        | 厚さmm | 備考       |
|-------------|------|----------|
| 設備配管用ブロック積み | 100  | 空洞ブロック08 |
2. ALCパネル
- | 施工部位                         | 厚さmm                        | 備考           |
|------------------------------|-----------------------------|--------------|
| <input type="checkbox"/> 外壁  | <input type="checkbox"/> 無地 | 35 耐火認定仕様で使用 |
|                              | <input type="checkbox"/> 柄  | 35           |
|                              | <input type="checkbox"/> 無地 | 50 耐火認定仕様で使用 |
| <input type="checkbox"/> 内部床 | <input type="checkbox"/> 無地 | 35 界床        |
|                              | <input type="checkbox"/> 無地 | 75 界床        |
3. サイディング
- 材質  窯業系サイディング  金属系サイディング
- サイディングの材料・施工仕様は製造メーカー仕様による。
- 製造所の「耐火関係」の国土交通省大臣認定仕様を確認し遵守する。
- 外壁へのサイディング施工は、外壁通気工法とする。  
 通気同縁工法(木胴縁)  通気金属胴縁工法  
 通気金物工法
- シーリング材、防水紙等は製造所の指定するものとする。
- 押出し成形セメント板の材料、施工仕様は製造所仕様とする。
- 製造所の「耐火関係」の国土交通省大臣認定仕様を確認し遵守する。
- シーリング材、防水紙等は製造所の指定するものとする。

枠組壁工法：建築工事特記仕様書(4)

その他特記事項・指示事項

本特記仕様書は「公共木造建築工標準仕様書(官庁営繕部監修)」の特記指定項目について記載している 運用は適用項目に■を記入する

21章 排水工事

標仕第21章 木標仕第21章

1. 一般事項 ○この章は、構内の屋外雨水排水工事に適用する。

Table with columns: 材種, 管の種類, 管径, 備考. Includes options for concrete, plastic, and metal pipes.

3. グレーチング ○グレーチングは受枠付の仕様とする。

Table with columns: 材質, 用途, 適用荷重, メイン・ベッチ, 普通目, 細目, 上面形状. Includes options for steel and stainless steel grating.

4. 通水試験 ○排水管の埋め戻しに先立ち、排水管の漏水等の検査を行ない、又すべての系統が完了した後、再度通水試験を行う。

22章 舗装工事

標仕第22章 木標仕第22章

1. 一般事項 ○この章は構内の舗装工事並びに街きよ、緑石、側溝等の設置工事に適用する。

2. 路床 ○路床等の材料 図面特記による ○遮断層 □ 施工する □ 施工しない ○凍上抑制層又はフィルタ 一層 □ 施工する □ 施工しない ○路床安定処理 □ 施工する □ 施工しない ○路床の仕上面と設計の高さとの許容差は+20～30mm以内とする。

3. 路盤 ○路盤の材料 図面特記による

Table with columns: 舗装の種類, 舗装の厚さ (車道部, 歩道部), 備考. Lists various paving materials like asphalt, concrete, and stone.

Table with columns: 部位, 測定値の平均, 備考. Shows surface tolerance for upper and lower layers of the pavement.

4. 路面表示用塗料 ○路面表示用塗料は、JISK5665(路面表示用塗料)による。

Table with columns: 種類, 施工, 適用, 色, 幅mm, 揮発性溶剤率. Details specifications for road marking paint.

23章 植栽及び屋上緑化工事

標仕第23章 木標仕第23章

1. 一般事項 ○この章は、植栽工事並びに屋上緑化工事に適用する。

○植栽地の透水性及び土壌硬度が植栽に適していることを確認する。 ○土壌の水素イオン濃度(pH)、水溶性塩類(EC)の調査 □調査を行う □調査を行わない

2. 植栽基盤 ○樹木等に応じた有効土の厚さは下記による。

Table with columns: 植栽区分, 有効土の厚さ (樹高m, 厚さcm), 備考. Lists tree types and their required soil depths.

3. 植え込み用土 □現場発生良土 □客土

4. 土壌改良材施工 □施工する □施工しない

5. 植栽基盤整備工法 ○植栽基盤整備工法は下記による。

Table with columns: 種別, 工法, 備考. Lists methods for soil preparation like A, B, C, and D types.

5. 枯れ木保障 ○新植樹木の枯れ木保証 □保証を行う(引渡しの日から 年) □保証を行わない

○移植樹木の枯れ木保証 □保証を行う(引渡しの日から 年) □保証を行わない

6. 屋上緑化 ○屋上緑化の方式 □屋上緑化システム □屋上緑化軽量システム

○屋上緑化システム、屋上緑化軽量システムの仕様、施工方法は製造所の仕様による。